

発明の名称:飼育ケージ用巣材

利用・用途・応用分野

マウス、ラット等のげっ歯類の実験用又はペット用小動物の飼育

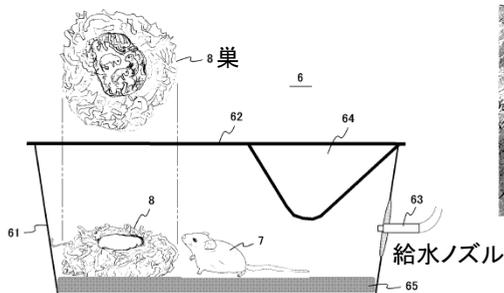
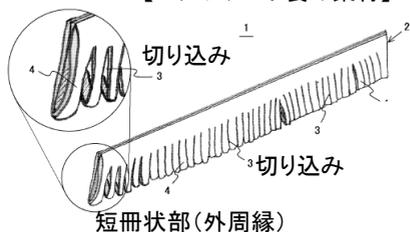
目的・課題

哺育中ケージでは、自動給水ノズルに細かな床敷や巣材が詰まりケージ内が浸水し、排泄物や湿った床敷が微生物繁殖の温床となる問題がある。またケージ交換の際、巣をそのまま同じ形状に復元するのが難しい。飼育管理における扱い易さとマウスの環境エンリッチメントを同時に達成するような巣材の発明と育児放棄の低減効果に優れる飼育ケージ用巣材を提供することを目的とする。

解決ポイント

- ◆パルプシートは1枚の単層シート又は複数枚を積層した多層シートで、矩形状のパルプシートを折り曲げ、折り重ねた長尺形・長尺形状に成形する。
- ◆長手方向に沿う外周縁の一侧でパルプシートの折り曲げられた側の外周縁に、複数切り込みを入れ、複数の短冊状に形成した。
- ◆妊娠マウスのケージに発明巣材を投入すると営巣行動が認められ、お椀状の巣を作ることから営巣行動に有効な巣材である。
- ◆飼育ケージを交換する際、巣をすくい上げても半球状の巣の形状や巣内で飼育される子マウスの配置がほとんど変化することがなく、移行に適していることが分かった。

【パルプシート製の巣材】



【飼育ケージ】



【営巣行動によるお椀状の巣】

研究概要・アピールポイント

- ◆本発明の飼育ケージ用巣材は、パルプシート製の巣材であり、外周縁に複数の切り込みを入れ複数の短冊状に形成したものであり、従来の巣材に比べ、育児放棄率の低減効果に優れ、また水漏れ発生率も極めて低く、実用的である。

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp